

とんがりやね

2019. 7. 1

第173号

<http://wataraseyogoen.jp/>

発行：社会福祉法人桐の実会 わたらせ養護園
〒376-0131 群馬県桐生市新里町奥沢 59-1 TEL 0277-74-0343 FAX 0277-74-0722



新理事長挨拶

野口 秀樹

この度、社会福祉法人桐の実会わたらせ養護園の第三代理事長に就任いたしました野口でございます。

昭和41年、医師である創立者岸直枝先生が理想に燃えて私財を投じて、まだこの国に存在しなかった幼児の知的障害児入所施設、わたらせ養護園をお作りになりました。施設長はガールスカウト日本連盟総主事の実践活動家清水俊衣先生、二人の努力により定員30名の3歳から就学前の幼児入所施設がスタートいたしました。社会の要望に応え定員増、昭和58年には学童児の受け入れが始まり、現在では中学三年生まで、そして児童福祉法改正により知的障害児施設から福祉型障害児入所施設と名称変更がなされました。また医療法人岸会岸病院理事長の岸芳正先生が平成8年度より桐の実会の第二代理事長として施設長、職員とともに過渡期の時代背景の中で発展充実をなされました。全く見事な施設運営、経営でありました。

しかしながら平成31年4月21日、御年87歳でご他界されました。今日までのご努力に感謝申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

浅学非才の私でございますが、先の役員会で理事長の任命を頂きました。私もお縁がございまして、桐の実会わたらせ養護園の監事を30年務めさせていただいておりますので、岸先生の運営など身近なところで拝見して参りました。

力不足でございますが先代理事長の足跡をなぞりながら入所して参ります障害児のために、地域の社会福祉事業のために努めて参りますので、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

合掌



〈児童作品〉

いろいろな思いで ありがとうございました

前施設長 中島 恒夫

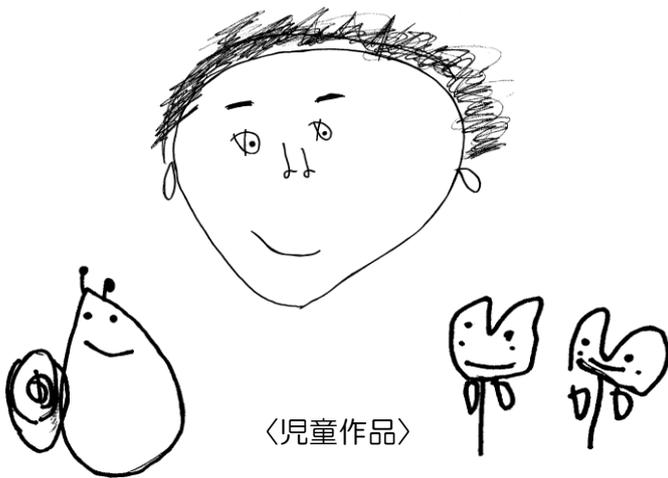
6月末日を以て退職いたしました。36年余りわたらせ養護園で仕事できたことは大きな宝物になりました。昭和57年大学を卒業し児童指導員として働き始め、子どもたちと元気に園庭を日々走り回っていました。この頃は、県内に児童入所施設はまだいくつもありました。当時、わたらせ養護園は幼児だけが40名在園していました。翌年58年より初めて8名の学童児を受け入れることになりました。それから少しずつ学童児が増え、現在は幼児、学童児の在籍比率が逆転しています。このころからまさに措置制度から契約制度に福祉が大きく変貌した時期でありました。また、施設の役目が大きく変わった時代でした。

現在、障害児やその家庭を応援する機関はたくさん増えましたが、通所施設にはできない機能をわたらせ養護園は持っています。幼児から中学3年生までの学童児が親元から離れて生活する児童施設ですが、太田徹新施設長のもと、どの子どもたちも家庭復帰を願いながら子育てを応援する施設として進んでほしいと思います。

最後に、わたらせ養護園を応援してくださった皆様に感謝を申し上げます。



〈児童作品〉



〈児童作品〉

就任にあたって

施設長 太田 徹

7月1日付けで施設長に就任いたしました。私がわたらせ養護園に就職した平成12年当時、幼児、学童児の入所割合は現在とほぼ同じでしたが、中学生は3年生になる前に家庭復帰や次の年長児施設に移動するのが主流でした。あれから19年が経ち、年号は平成から令和に変わり、ここ数年は中学3年生をどうにか次施設に送り出すという流れに変わってきています。要因として児童施設が成人施設に転換し、数が減少したことや成人施設が満床のため、児童施設からの移動が難しくなったことが考えられます。この間障害者福祉が大きく変わろうとしてきた年月でもありました。平成24年に障害者虐待防止法が施行され、職員の支援の仕方を問われるようになり、どの研修会に於いてもこの制度についての話題が中心となっています。

わたらせ養護園は児童施設として培ってきた発達支援を軸に、これからもより良い福祉サービスを提供していく所存でございます。

施設長の交替により7月より新たなスタートとなりますが、前施設長からの意志を受け継ぎ、いつも子どもたちが中心にいる施設であることに変わりなく、職員一人一人が共に真剣に子どもたちと向き合う取り組みをしていきたいと考えています。

微力ではありますが、誠心誠意努めてまいり所存でございますので、今後ともわたらせ養護園にご支援、ご指導賜りますようお願いいたします。

職員研修会

4月1日、平成31年度の職員研修が行われました。今年は保育士1名が新たに加わり、計27名で新年度を迎えることができました。



新人職員挨拶

今年度から保育士としてお世話になります天沼と申します。子ども達との生活で、毎日元気をもらっています。そんな子ども達に寄り添える援助、子どもの目線で考えられる保育士になりたいと考えています。まだまだ未熟な所もありますが職員の皆様にご助けいただきながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

保育士 天沼 未夢

退職者紹介

介助員 松島 久恵(H31. 3. 31)

事務員 松尾 由衣(H31. 3. 31)

社会福祉法人桐の実会

理事長 岸 芳正氏 ご逝去

当法人理事長の岸芳正氏が平成31年4月21日にご逝去なさいました(87歳)。

平成9年1月から理事長として、長年にわたりわたらせ養護園のためにご尽力いただきましたご功績に深く感謝を申し上げます。あたたかなお人柄を偲び謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成31年度園内研修

今年度はテキストを参考に、働くうえで知っておきたいマナー・対応・心構えを学んでいきます。

社会人としての基本的な心構えや言葉の使い方、文章の書き方、文書の作り方も学んでいく予定です。年数を積んでいる職員も初心に帰り資質と支援の向上に努めます。

児童発達支援管理責任者 新井 元気

しゃぼんだまふわり

「成長」



保育士 柿田 圭介

5月より年号が「令和」となり、早2ヶ月が経ちました。過ごしやすい日々が続いており穏やかな気持ちで業務に取り組んでいます。子どもの成長というものは驚かされる事ばかりで、ついこの間まで幼児だった子どもが、大きいランドセルを背負い登校している姿や学校で頑張っている姿を見ると胸が熱くなります。

以前は他児とのトラブルが絶えず、手を出してしまったり、泣いて暴れる事が多かった児童を今年度担当しており、最初は不安で考え込んでしまう事が多くありました。そんな時先輩方から、沢山アドバイスを貰い、「大人が間に入り、子どもの話を聞いてあげる」「どうすればよかったのかを子ども同士で相談をさせる」等を学びました。洗濯や掃除などの業務に追われている時、子ども同士のトラブルがあっても「だめだよ」「嫌だよって言うんだよ」等の声掛けしかしてなかった自分自身を見直し、先輩から頂いたアドバイスを実行してみました。子ども自身、他児との関わり等で成長した部分が大きいですが、職員がいなくてもお互いの気持ちを話し合い「ごめんなさい」と謝れている様子が多くみられるようになりました。このように子どもの成長に気付かされ、自分自身も、「頑張ろう!」と元気を貰う事や、成長させてもらっている事が多くあります。子どもの成長に驚かされる事ばかりですが、これからも自分自身も負けずに成長していきたいと思っております。

第33回 あすなろ祭



<↑ 迫力ある演奏>



<↓ 演奏後の記念写真>



平成31年3月9日、ベシア文化ホール(群馬県民会館)にて第33回あすなろ祭が行われました。ステージ部門では太鼓グループによる和太鼓演奏で「わたらせ太鼓」「ゆうあい」の2曲を披露しました。この日のためにたくさんの練習を重ね、努力してきた子ども達。その頑張り毎回の練習で手の平にマメができてしまうほど…。当日のホールでの演奏は、緊張していたものの、どの子どもしっかりと前を向いて、堂々と迫力ある演奏をすることができました。

手工芸

書道

生け花

絵画



心を込めて作りました。
僕たち・私たちの作品を見てください!



展示部門では手工芸や生け花・書道・絵画などの13作品を出展しました。どの子ども皆、担当職員と力を合わせ、想いを込めて作品を作りあげました。作品を作っている時の表情は真剣そのもので、輝きに満ち溢れていました。作品が出来上がると、とても嬉しそうなにんまり笑顔。「どこに飾るの?」「早く飾ってるところ見たい!」など、当日が待ちきれないといった様子の子も達でした。

初午



2月1日、幼児部のみなでお稲荷さまにお参りをしてきました。お参りに行く前に「幼児部のみんな、お参りよろしくね!」と伝えると「はい!」と言い準備万端。いざお稲荷さまの前に立つと真剣な表情で手を合わせて頭をペコリ。何度も何度も手を合わせて、わたらせのお兄さんお姉さんの分もたくさんお参りしてくれました。2月2日には、子ども達全員でクイズをして初午について楽しく勉強出来ました。

ひなまつり



3月3日に、ひなまつりの行事を行いました。紙芝居を読み、子ども達全員で「たのしいひなまつり」を歌って、ひなまつりのお祝いをしました。おやつに出たひしもち形のゼリーに「かわいい!きれいな色!」「甘くて美味し〜」と言う子ども達から笑顔が溢れていました。おやつ後に、主役の女の子達はお雛様の前で写真を撮りました。一番お気に入りのポーズで素敵な写真が撮れました。

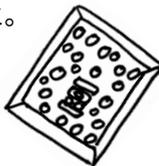
豆まき



2月3日の節分の日、毎年恒例の「豆まき」を行いました。鬼の格好をしているのが職員とは気づかずに、怖くて泣いてしまう子や走り回り逃げる子「おには〜そと!ふくは〜うち!」と力強く豆まきする子もいました。おやつには、大善寺さんから頂いたお菓子を食べて大満足。無事に鬼を退治することが出来て子ども達はとても喜んでいました。



〈児童作品〉



こどもの日

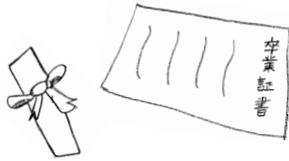


5月1日に、こどもの日のお祝いをしました。お部屋ごとにオリジナルのこいのぼりを作りました。カラフルで個性豊かなこいのぼりが出来上がりました。子ども達はおやつでゼリーを笑顔で頬張っていました。



〈児童作品〉

卒業式



小学部2名、中学部3名が卒業証書を受け取り、一つの節目を迎えました。春からは新しい生活の始まりです。どんなスタートとなるのか、とても楽しみです。

幼児部修了式

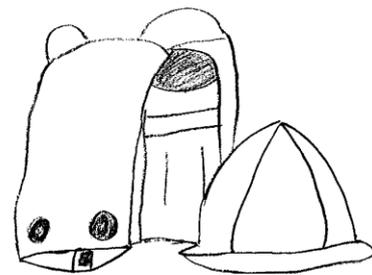
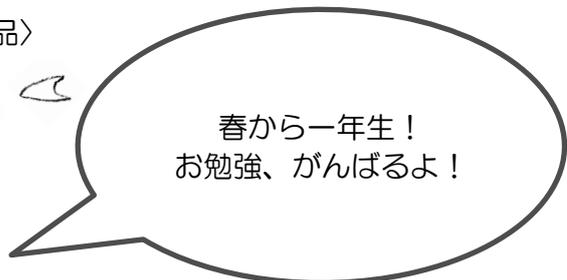


30年度は3名の児童が幼児部を修了しました。修了証書を受け取り、嬉しそうな子ども達。春からは憧れのお兄さん・お姉さんたちの仲間入りです。

入学式



〈児童作品〉



〈児童作品〉

小学部へ4名、中学部へ2名が新一年生となりました。少し恥ずかしそうではありましたが、しっかりと新入生代表の挨拶をし、立派な姿を見せてくれました。どの子も新しい制服姿がとてもよく似合っていて、いつもよりも少し大人びて見えました。これからたくさんのことを学び、成長していく姿が楽しみです。



〈児童作品〉

出張・研修

1月

- 23 事務部会(久保田, 山岸, 太田)
- 24 保健部会(牛丸, 柿沼)
- 25 施設長部会(中島)
- 31 人権倫理委員会(柿田)

2月

- 1 平成30年度第3回職員研修会(柏原)
- 5 桐生市地域自立支援協議会 定例会(太田)
- 8 療育講演会(渡辺)
- 15 児童生活部会(中島, 新井, 長谷川)
- 18 年金委員・健康保険委員合同研修会桐生地区
(久保田)
- 19-20 群馬県サービス管理責任者等研修(柿沼)
- 20 第6回社会福祉法人三和会公開セミナー
(太田)
- 21 平成30年度育英短期大学就職
実習等懇談会(太田)

- 26 サービス管理責任者連絡会(新井)

3月

- 5-6 種別代表者会議(中島)
- 14 事務部会(久保田, 松尾, 太田)
- 25 大泉保育専門学校実習施設情報交換会(太田)
- 26 互隣施設ネットワーク(太田)

4月

- 9 桐生市地域自立支援協議会 定例会(太田)
- 17 初任者研修会(天沼)
- 26 施設長会議(太田)
- 26 施設長部会(太田)

5月

- 9 関東地区福祉型障害児入所施設連絡会(太田)
- 31 動作法の学習会(太田)

6月

- 6 群馬県知的障害者福祉協会総会(太田)
- 26 サービス管理責任者部会(新井)

ボランティア

絵本読み聞かせ

齊藤知子さん(2/25・3/25・4/29・6/30)

保育

天沼未夢さん(12/9・3/9)
桐生准看護学校(5/15・16)

縫製

八の会さん(2/26・3/26・4/23・5/28・6/25)

実習

新規採用職員実習

天沼未夢さん(3/11~3/18)



大善寺さんよりノートとお菓子をいただきました。



フィットネスクラブ・カーブスさんより沢山の食品とお菓子をいただきました。



「夢を抱くことの素晴らしさを知ってほしい」との思いで集まった4人の女性ボーカリスト「DreamVoices」さんより、チャリティーライブの収益からご寄附をいただきました。

東京電力労働組合群馬地区本部さん
清掃ボランティア

普段手の届かない園舎内外を綺麗にさせていただきました。ありがとうございました。

